



## 2024年7月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年12月14日

上場会社名 ビジヨナル株式会社 上場取引所 東  
コード番号 4194 URL <https://www.visional.inc/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 南 壮一郎  
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員CFO (氏名) 末藤 梨紗子 (TEL) 03-4540-6200  
四半期報告書提出予定日 2023年12月15日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年7月期第1四半期の連結業績 (2023年8月1日～2023年10月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年7月期第1四半期	16,057	21.5	4,955	33.8	5,189	37.2	3,487	37.8
2023年7月期第1四半期	13,218	38.1	3,703	46.0	3,783	44.3	2,531	42.2

(注) 包括利益 2024年7月期第1四半期 3,478百万円( 37.4%) 2023年7月期第1四半期 2,531百万円( 42.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2024年7月期第1四半期	円 銭 89.16	円 銭 84.11
2023年7月期第1四半期	円 銭 65.88	円 銭 60.73

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2024年7月期第1四半期	百万円 59,341	百万円 42,634	% 71.6
2023年7月期	57,873	39,129	67.4

(参考) 自己資本 2024年7月期第1四半期 42,489百万円 2023年7月期 38,990百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年7月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 0.00
2024年7月期	—	—	—	—	—
2024年7月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年7月期の連結業績予想 (2023年8月1日～2024年7月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	66,400	18.0	16,000	21.0	16,320	13.5	10,930	10.1	279.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
(連結範囲の変更に伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2024年7月期1Q	39,132,600株	2023年7月期	39,096,200株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2024年7月期1Q	236株	2023年7月期	213株
------------	------	----------	------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2024年7月期1Q	39,118,217株	2023年7月期1Q	38,425,051株
------------	-------------	------------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている将来に関する事項は、本資料発表日において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	1
(1) 経営成績に関する説明 .....	1
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	4
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(セグメント情報等) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

当第1四半期連結累計期間の我が国経済は、新型コロナウイルス感染症に対する行動制限の緩和等により、社会経済活動の正常化が進み、景気は緩やかな回復基調で推移しました。一方で、不安定な世界情勢の長期化を受けた資源価格の高騰等、世界経済の下振れリスクは解消しておらず、国内経済も円安、物価高等インフレ基調が見られ、依然として先行きが不透明な状況が継続しております。

このような状況の下、当社グループにおいては企業の求人意欲の継続を背景に、当第1四半期連結累計期間においてもビズリーチ事業がグループ全体の業績をけん引する結果となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の実績は、売上高は16,057百万円（前年同期比21.5%増）、営業利益は4,955百万円（同33.8%増）、経常利益は5,189百万円（同37.2%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は3,487百万円（同37.8%増）となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。（売上高は外部顧客への売上高を記載しております。）

#### (i) HR Tech

HR Techセグメントは『ビズリーチ』、『HRMOS』及びその他のHR Techサービスで構成されています。

ビズリーチ事業においては、引き続きプロフェッショナル人材領域の人材需要の強さや、積極的な広告宣伝活動の結果として、当第1四半期末時点で、累計導入企業数（注1）は27,500社以上（前連結会計年度末26,200社以上）、利用ヘッドハンター数（注2）は6,800人以上（同6,600人以上）、スカウト可能会員数（注3）は227万人以上（同214万人以上）となりました。すべての指標について、前連結会計年度末比で成長し、ビズリーチ事業の売上高は14,092百万円（前年同期比21.3%増）、管理部門経費配賦前の営業利益（注4）は6,158百万円（同9.4%増）となりました。

HRMOS事業においては、新規機能の開発のためのプロダクト投資を継続しつつ、利用顧客の拡大のための営業活動等を行っております。2023年10月には、HRMOSタレントマネジメントの新機能として、人的資本や人と組織の課題を可視化・分析することができる「ダッシュボード」の機能をリリースしております。

HRMOS採用およびHRMOSタレントマネジメント両サービス合算のKPIについては、ARR（注5）は前年同期末比28.8%増の2,273百万円、利用中企業数（注6）は同27.4%増の1,631社、ARPU（注7）は同1.1%増の116,155円となり、12か月平均であるChurn rate（注8）は0.56%となりました。

この結果、HRMOS事業の売上高は831百万円（前年同期比71.3%増）、管理部門経費配賦前の営業損失（注4）は277百万円（前年同期は582百万円の管理部門経費配賦前の営業損失）となりました。

これらの結果、HR Techセグメントの当第1四半期連結累計期間のセグメント売上高は15,336百万円（前年同期比20.9%増）、セグメント利益は5,377百万円（同21.5%増）となりました。

- (注) 1. ビズリーチを導入した累計企業数、ヘッドハンターを除く  
 2. 株式会社ビズリーチによる審査を経たヘッドハンター数  
 3. ビズリーチ会員のうち、「採用企業への職務経歴書公開設定」を公開にしている、または、「ヘッドハンターへの職務経歴書公開設定」を公開にしている会員数  
 4. 経理、法務、人事機能等の経営管理に携わる人件費や付随する外注費等の費用及び、情報システム部門やデザイン部門のうち直接製品に費用を賦課することの出来ない人件費や付随する外注費等の費用を事業に負担させる前の事業の営業利益又は損失  
 5. Annual Recurring Revenueの略称。各四半期末の月末のMRR（Monthly Recurring Revenueの略）を12倍して算出。MRRは、対象月末時点における継続課金企業に係る月額料金の合計額（一時収益は含まない）  
 6. HRMOS採用およびHRMOSタレントマネジメントのサービスを利用するユニークな有料課金ユーザー企業数  
 7. Average Revenue Per Userの略称。月末時点のMRR÷利用中企業数  
 8. 当月の解約により減少したMRR÷前月末のMRRを単月Churn rateとし、その直近12ヵ月平均

(ii) Incubation

Incubationセグメントは『トラボックス』、『M&Aサクシード』、『BizHint』、『yamory (ヤモリー)』、『Assured (アシュアード)』等で構成されています。

Incubationセグメントの各事業については、HR Techセグメントより生み出される利益の範囲内で人材投資、新規プロダクト開発、広告宣伝活動等を行っており、当第1四半期連結累計期間のセグメント売上高は689百万円（前年同期比39.3%増）、セグメント損失は184百万円（前年同期は456百万円のセグメント損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は59,341百万円で、前連結会計年度末に比べ1,467百万円の増加となりました。これは主に、現金及び預金が1,487百万円増加し、42,657百万円となったこと、売上高が伸長したことにより売掛金が446百万円増加し、5,597百万円となったこと等によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は16,706百万円で、前連結会計年度末に比べ2,037百万円の減少となりました。これは主に、ビズリーチ事業において、利用企業数が伸長したこと等により未経過分の契約負債が500百万円増加し、7,359百万円となったこと、未払法人税等が1,575百万円減少し、1,484百万円となったこと、賞与引当金が467百万円減少し、566百万円となったこと等によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における純資産は42,634百万円で、前連結会計年度末に比べ3,505百万円の増加となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が3,487百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年7月期の連結業績予想につきましては、2023年9月14日に公表した内容から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年7月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年10月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	41,170	42,657
売掛金	5,151	5,597
その他	2,645	2,846
貸倒引当金	△64	△62
流動資産合計	48,902	51,039
固定資産		
有形固定資産	845	762
無形固定資産		
のれん	2,799	2,674
その他	1,656	1,574
無形固定資産合計	4,455	4,248
投資その他の資産		
その他	3,679	3,292
貸倒引当金	△9	△1
投資その他の資産合計	3,669	3,291
固定資産合計	8,971	8,301
資産合計	57,873	59,341
<b>負債の部</b>		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	7	7
未払法人税等	3,059	1,484
契約負債	6,858	7,359
賞与引当金	1,034	566
その他	5,368	4,967
流動負債合計	16,328	14,384
固定負債		
持分法適用に伴う負債	2,133	2,053
長期借入金	32	31
繰延税金負債	249	237
固定負債合計	2,415	2,322
負債合計	18,744	16,706
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,356	6,365
新株式申込証拠金	5	9
資本剰余金	10,321	10,329
利益剰余金	22,223	25,711
自己株式	△1	△1
株主資本合計	38,905	42,414
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	84	75
その他の包括利益累計額合計	84	75
新株予約権	139	144
純資産合計	39,129	42,634
負債純資産合計	57,873	59,341

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年8月1日 至 2022年10月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年8月1日 至 2023年10月31日)
売上高	13,218	16,057
売上原価	1,621	1,313
売上総利益	11,597	14,744
販売費及び一般管理費	7,894	9,789
営業利益	3,703	4,955
営業外収益		
持分法による投資利益	79	79
違約金収入	4	141
その他	0	17
営業外収益合計	85	239
営業外費用		
支払利息	0	0
コミットメントフィー	1	1
為替差損	3	4
その他	0	0
営業外費用合計	5	5
経常利益	3,783	5,189
特別利益		
新株予約権戻入益	3	-
特別利益合計	3	-
税金等調整前四半期純利益	3,786	5,189
法人税、住民税及び事業税	960	1,364
法人税等調整額	294	337
法人税等合計	1,255	1,701
四半期純利益	2,531	3,487
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,531	3,487

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年8月1日 至 2022年10月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年8月1日 至 2023年10月31日)
四半期純利益	2,531	3,487
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	△8
その他の包括利益合計	0	△8
四半期包括利益	2,531	3,478
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,531	3,478
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はございません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はございません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2022年8月1日 至 2022年10月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結財務諸表計上額 (注) 2
	HR Tech	Incubation	計		
売上高					
外部顧客への売上高	12,686	495	13,181	36	13,218
セグメント間の内部売上高 又は振替高	11	23	34	△34	—
計	12,697	518	13,216	2	13,218
セグメント利益又は損失(△)	4,426	△456	3,970	△266	3,703

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに帰属しない全社費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 2023年8月1日 至 2023年10月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結財務諸表計上額 (注) 2
	HR Tech	Incubation	計		
売上高					
外部顧客への売上高	15,336	689	16,025	31	16,057
セグメント間の内部売上高 又は振替高	8	32	41	△41	—
計	15,344	722	16,067	△9	16,057
セグメント利益又は損失(△)	5,377	△184	5,193	△238	4,955

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに帰属しない全社費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。